

すばらしい日本の食文化『和食のよさを知ろう

日本では、春夏秋冬の四季があり、お米とともに季節ごとに旬の野菜や魚介類などがとれます。 これらの食べ物を料理して食べる知恵や生活を、私たちの食文化として伝えていきましょう。 お米を中心とした日本型食生活のよさは、世界中から評価されています。

和食の4つの特徴

【栄養バランスのとれた食事】 ごはんを中心とした一汁三菜 は理想的な栄養バランスです。だ しの旨味をいかすことで、うす味 でおいしく味わえます。



【自然の美しさや

四季を表現】

季節の花や葉を料理に使 用したり季節にあった器を 利用したりすることで、自 然の美しさや四季の移り変 わりを表現しています。

【年中行事との関わり】

大晦日には年越しそば、正月には餅つきやお せちなど、食事と年中行事が深く関わっていま す。

【新鮮で多様な食材と

素材の味わいをいかす調理】

日本は南北に長く、海や山からたくさんの種 類の新鮮な食材がとれます。

簡単な『 だし 』の取り方!

レンジを使った簡単な『 だし 』の作り方を 紹介します。作った『 だし 』を色々な料理に 使って減塩にチャレンジしましょう。

『かつおだし』300m1の作り方

- 1. 耐熱容器に水 300m 1、花かつお 15 gを入れ、 よく混ぜ、レンジで 600W 3 分加熱する。
- 2. ザルでだしをこす。

伝えよう日 本の味

≪新嘗祭≫

11月23日勤労感謝の日は、 もともと「新嘗祭」という、農産物の 収穫をお祝いし、感謝するお祭りが 行われた日でした。食べ物の命と、 食べ物を作ってくれる人、おいしく 料理してくれる人、食にたずさわる 全ての人に感謝の気持ちを忘れずに、 よく味わっていただきましょう。

≪新米≫

新米とは、お米が生産された年の 12月31日までに精米され、包装 したものです。みずみずしく、もち もちとした食感と甘みが特徴です。 今しか食べられない新米を味わって いただきましょう。

11月24日は、 各務原にんじんの日

11月24日は「いいにんじん」の 語呂合わせで、「各務原にんじんの日」 です。「各務原にんじんの日」にちなんで 給食では、にんじんを使ったメニューを いろいろ取り入れています。私たちの 郷土の自慢、各務原にんじんをおいしく いただきましょう。

